

歌う！繋がる！響きあう！ ～水戸芸術館との協働による音楽文化の振興と発信～

教育・研究

地域交流

課外活動

代表者：教育学部音楽選修 4年 角田 葵

連携先

水戸芸術館、常磐大学、水戸第一高等学校、水戸第二高等学校、茨城高等学校、大成女子高校、水戸ジュニアオーケストラ、MLR.

顧問教員

守山光三（教育学部 特任教授）

参加者

渡邊 興司（教育学研究科音楽教育専修2年）
日下部健太（教育学研究科音楽教育専修1年）
内野 健太（教育学部音楽選修4年）
柏 早紀（教育学部音楽選修4年）
高野 佑美（教育学部音楽選修2年）
磯崎 彩佳（教育学部音楽選修2年）

プロジェクトの申請内容

●プロジェクトの目的

水戸近郊には、水戸芸術館（以下芸術館）を始めとする20以上の文化施設が存在し、多様な団体がそれらの施設で盛んに活動を行なっている。特に音楽系団体に関しては、水戸市を拠点に活動する団体だけでも約50存在する。しかしそれぞれが独立して活動しているため、相互に具体的な実態がわからず、地域を巻き込んだ活動が目立たない。

本プロジェクトでは、茨城大学の学生を中心に、芸術館が主催できるよう協働をとりながら、大学・高校・世代・ジャンルといった垣根を超える「ボーダーレス」をキーワードに、音楽を通じた地域・文化振興を行うことを目的とする。

なお、芸術館はそのホールの貸与を一切行っていないため、本プロジェクトに対して、芸術館の主催事業として取り組む予定である。

●プロジェクトの内容

芸術館との連携を取りながら、本プロジェクトが主体となり、社会に発信する音楽祭を1月中旬に開催する。具体的には茨城で活動している学生音楽系団体を中心とすることにより、子供からお年寄りまで楽しむことのできる多種多様かつ独創性のある音楽を取り扱った音楽祭を企画・運営する。またそのために、企画・運営する上での必要な手立てについて外部講師を招き企画を監修・指導していただく。今年度は実現の可能性から、4音楽系団体を中心に約60人で活動を行う。

●プロジェクトの効果

本プロジェクトにおいて、本学の学生が中心となり、地域の音楽文化の交流に興味を持つ様々な専門家に加わっていただくことにより、参加者同士の学び合いが必然的に生じ、それぞれの独立した知識を普遍的・持続的なものへと昇華し、地域へ反映することができる。さらに参加者が地域の人材や伝統、風土が持つ音楽的な教育資源の再確認をすることで、積極的に教育活動に参画し、郷土愛を育むきっかけとなる。高校生にとっては、企画に携わることで社会に近づくことのできる機会を得ることができ、キャリア教育としての側面からも貴重な経験となることが考えられる。

昨年度1月に、学内において自主的に本プロジェクトの前身となる企画を実施したところ、多くの地域住民の方に感心をいただき、更に地域に開けたイベントを望む声が寄せられた。こういった活動により、更なる地域や年齢を超えた連携が生まれると予想できる。

プロジェクトの実施概要

地域連携 奏でる！繋がる！響きあう！

水戸学生音楽祭

水戸第一高等学校 (本管アンサンブル他)
水戸第二高等学校 コーラス部
茨城高等学校
大成女子高等学校 (本管アンサンブル他)
常磐大学 (本管アンサンブル)
水戸ジュニアオーケストラ (金管アンサンブル)
MLR (弦楽アンサンブル)
特別出演 瀧本真己 (水戸二高コーラス部OG) (ソプラノ独唱)
杉田茉奈美 (ピアノ伴奏)

2014.1.25 土
15:00 開場
15:30 開演

水戸芸術館
コンサートホールATM
入場無料

本公演は茨城大学社会連携事業会の主催事業として、茨城大学の学生が企画・運営する事業会です。そして、本公演収益の一部が、その活動に費やされます。出演は、水戸を中心に活動する学生達による音楽団体。本公演は、地域の音楽文化の「響きあう」の場として、大学、高校、年代、ジャンルという枠を超えて、これらの団体が相互に演じ、交流・連携していくための場となることを目指しています。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

【お問い合わせ】
水戸芸術館音楽部門 TEL:029-227-8118
公演の内容等は、変更になる場合があります。
*4歳未満の入場はご遠慮ください。 水戸芸術館
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8
TEL:029-227-8111 <http://artowemto.or.jp>

茨城大学 社会連携事業会 支援事業
水戸芸術館 アートマネージメント人材育成・大学連携プロジェクト
主催 茨城大学 社会連携委員会
公益財団法人水戸市芸術振興財団

「演奏会のポスター」

平成26年1月25日、水戸芸術館コンサートホールATMにてコンサートを実施した。

プロジェクトの成果報告

水戸芸術館と茨城大学の交流は今までなかった。そんな中、文化庁による「大学を活用した文化芸術推進事業」の告示がきっかけとなり、水戸芸術館と茨城大学の連携が始まった。水戸芸術館において貸しホールは行なっておらず、本プロジェクトと水戸芸術館が協働で企画・主催を行う形となった。具体的には、プロジェク

トメンバーが、水戸芸術館から「アートマネージメント」についての理念を学び、学生主体で企画を考えるという形になった。



「水戸芸術館と茨大生による会議の様子」

演奏会の目的として、プロジェクトの大本のテーマである地域連携に設定した。当初は実現可能な規模を考え、常磐大学・水戸第二高等学校・水戸第三高等学校に絞ったが、プロジェクトを進めていく中で企画の実現性、地域連携性を高めるために、水戸第一高等学校吹奏楽部・水戸第二高等学校コーラス部・茨城高等学校吹奏楽部・大成女子高等学校吹奏楽部の学校機関に加え、水戸第二高等学校コーラス部OGの“MLR”、地域の青少年を集めた水戸ジュニアオーケストラ、水戸出身のセミプロの歌手瀧本真己さん、ピアニストの杉田茉奈美さんを招き、幅広いジャンルをカバーした企画となった。水戸芸術館での演奏ができること、そして今までになかった地域連携の企画性から、多くの団体が快諾してくださった。



「瀧本さん・杉田さんの演奏の様子」

また私達の想いを活かした企画運営を行えるよう、音楽家のアドバイスを多く受けた。想いを持った演奏会を実現させるための様々な手法を本演奏会に反映できた。

各学校が様々な行事を抱える中での企画への参加であったが、地域連携という企画の趣旨を全団体が理解してくださり、合同による「ふるさと」の演奏を実現することができた。出演者133人、入場者数252人の歌や演奏が合わさり、総勢385人が繋がったといえる演奏となった。



「出演者133人合同演奏の様子」



「運営の仕事をするスタッフの様子」

来場者のアンケートから、「このような地域連携を目的とした企画は今までになく今後にも期待したい。」という意見、演奏者の感想から、「最後に行った〈ふるさと〉の合同演奏において、出演者の演奏と入場者の歌が合わさり、全員が繋がれたことに感動した」という声や、「普段の高校生は演奏することのみに専念しているが、今回コンサートの演奏会の運営に携われたことは貴重な体験だった」という意見もあった。加えて、「演奏会だけではなくさらに交流が深められるような企画にも期待したい」との要望もあった。このことから、本企画が地域連携の一つの形になったと考えられる。